## 相模原市高齢者等実態調査の結果について

令和元年度に実施しました「相模原市高齢者等実態調査」の結果についてお知らせします。

### 1 調査実施の目的

本調査は、令和3年度から3年間を計画期間とする「第8期相模原市高齢者保健福祉計画(老人福祉計画及び介護保険事業計画)」を策定するに当たり、高齢者等の実態及びニーズ把握を行うことにより、今後、取り組むべき高齢者施策の方向性を定める基礎資料とするため、実施したものです。

# 2 調査の実施概要

本調査の実施概要は以下のとおりです。

調査名	高齢者一般調査	高齢者介護予防調査	介護保険認定者調査			
調査対象	市内在住で65歳以上の	市内在住の65歳以上の	市内在住で要介護認定を			
	方( 要支援・要介護認定者	方で、要支援認定を受け	受けている方(施設入所			
	を除く。)	ている方及び介護予防・	者を除く。)			
		日常生活支援総合事業の				
		対象となっている方				
対象者数	10,000人	3,000人	8,000人			
	(無作為抽出)	(無作為抽出)	(無作為抽出)			
調査方法	郵送によるアンケート調査					
調査期間	令和元年12月13日(金)~12月27日(金)					
回収数	6,823件	2,035件	4,639件			
回収率	68.2%	67.8%	57.9%			
有効回答数	6,823件	2,035件	3 , 7 3 6件			
調査項目	・家族や生活環境について	・家族や生活環境について	・健康状態等			
	・日常の活動について	・日常の活動について	・介護者の状況			
	・たすけあいについて	・たすけあいについて	・介護サービス利用状況等			
	・健康について	・健康について	・介護者の不安、相談先			
	・認知症について	・認知症について	等			
	・高齢者施策について 等	・高齢者施策について 等	(全50問)			
	(全90問)	(全90問)				

<sup>「</sup>回収数」から調査の対象外である施設等に入所している方や入院中の方を除外した数

## 3 主な結果概要

#### (1)高齢者の状況(リスク判定割合)

前回調査の結果と比較して、大きな変化は見られないが、一般調査では「運動機能の低下」「口腔機能の低下」「うつ傾向」「転倒リスク」のリスクが高まっており、介護予防調査では、「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「うつ傾向」のリスクが高まっている。

		運動機能の低下	低栄養の傾向	口腔機能の低下	閉じこもり傾向	認知機能の低下	うつ傾向	転倒リスク	IADLの低下
一般調査	今回	8.3%	1.3%	20.0%	11.7%	40.7%	37.6%	26.7%	11.4%
	前回	7.3%	1.3%	17.7%	13.0%	42.8%	34.5%	26.5%	11.8%
介護予防調査	今回	52.5%	2.8%	40.1%	35.5%	53.3%	54.3%	51.0%	38.9%
	前回	54.3%	3.5%	39.3%	34.9%	54.0%	53.2%	51.6%	42.4%

#### (2)地域活動等への参加意向、健康状態及び主観的幸福感

地域活動・ボランティア活動の意向については、前回調査の結果と比較し、「さらに活動を 広げたい」と「活動をはじめたい」の割合がいずれの調査でも高まっている。

健康状態については、前回調査の結果と比較し、よいと回答した割合が低くなっている。 主観的幸福感については、前回調査の結果との比較において大きな差はないが、一般調査よりも介護予防調査の結果が低くなっている。

		地域活動・	・ボランティア活	健康状態	主観的幸福感	
		たいと回答した割合	活動をはじめたい	との合計	よいと回答した割合	た平均点
一般調査	今回	6.2%	22.3%	28.5%	80.7%	7.24
	前回	5.0%	11.7%	16.7%	83.5%	7.28
介護予防調査	今回	3.6%	11.8%	15.4%	49.4%	6.64
	前回	2.5%	4.8%	7.3%	52.5%	6.60

なお、調査結果の詳細は、市ホームページに掲載するほか、各行政資料コーナーに配架しています。

以上

問合せ先 地域包括ケア推進課 042-769-9222